

キリスト教関連施設 ～苓北町は天草で最初のキリスト教伝来地～



トルレス神父の記念広場



アダム荒川殉教公園

キリスト教の天草伝来は、永禄9年（1566年）、志岐麟泉（鎮経）が日本の布教長であったトルレス神父に依頼して、修道士ルイス・アルメイダを派遣してもらったことが始まりであり、苓北町が天草で最初のキリスト教伝来地です。その後、志岐を中心として天草全土へ広がっていき、天草はキリシタンの島と呼ばれるようになりました。

苓北町にはキリスト教関連施設が数多く残されており、富岡港が発地点となっている九州オルレ天草苓北コースを歩くと苓北町の風光明媚な町並みと共に多くのキリスト教関連施設を巡ることが出来ます。

富岡城



苓北町歴史資料館



熊本県富岡
ビジターセンター

かつて苓北町富岡は、数百年にわたり天草の中心として栄えました。寛永14年（1637年）「島原・天草一揆」で、富岡城は幕府側の拠点として一揆軍から攻撃を受けました。必死の守りで落城を免れたことが、乱の早期終結と後の徳川幕府の安定をもたらしたといわれています。

現在、富岡城の本丸跡に「熊本県富岡ビジターセンター」を開設。さらに櫓・高麗門・白堀等が復元され、当時の面影を偲ぶことが出来ます。平成26年には新たに長屋・東・西角櫓を復元し、平成27年7月、長屋跡に「苓北町歴史資料館」がオープンしました。

九州オルレ ～歴史を巡るまち歩き～



九州オルレ天草・苓北コースをはじめ、富岡の歴史を巡る様々な散策コースが富岡港からスタートします。また、地元住民のボランティアガイドによる観光案内では、苓北町の歴史はもとより、そこに住んでいる人ならではの面白い話、興味深い話を聞くことが出来ます。

所要時間1時間のコースでは、富岡城内の島原・天草一揆の痕跡や、富岡城から見る景色についてガイドによる説明を受けながら、巡ります。詳細は下記問い合わせ先へ。

・苓北町観光ボランティアガイド協会

電話：0969-35-1111（苓北町役場内）

※ オルレとは… 韓国・濟州島の言葉で「家に帰る細い道」の意味で、自然を楽しみながら歩くトレッキングコースを指します。

富岡城お城まつり

今年初開催となるお城まつり（第一回は台風により中止）が2日間にわたって開催されます。（平成30年10月27-28日）

1日目は、イルカウォッチング、オルレ富岡まち歩き等のイベントが行われます。

2日目は、マルシェとステージイベントが行われます。ステージイベントでは郷土芸能や演舞、器楽演奏を中心に様々な団体が出演し、また、姉妹都市である唐津市による和太鼓 竜童の演奏や富岡茂木航路で結ばれる長崎市による中国変面ショーも行われます。



海から望む富岡城



郷土芸能「蛇踊り」

土曜日・イルカウォッチング ・きずなマルシェ

毎週土曜日に四季折々の農産物・海産物等を販売している土曜日や、代表施設である苓北町富岡港船客待合所のリニューアルを契機に始まった、飲食店や雑貨店の出店が並ぶきずなマルシェ、富岡港から出港し天草のイルカと触れ合うイルカウォッチング等のイベントが「みなとオアシス富岡」で開催されます。



土曜日



イルカウォッチング



きずなマルシェ

みなとオアシス周辺の“食”

みなとオアシス富岡が所在する苓北町では、豊かな自然に囲まれ、四季折々の農産物・海産物を楽しむことができます。特に色鮮やかな貝殻が特徴の緋扇貝、マガキの4~5倍の大きさになる天領岩ガキ、上品な甘みとうまみのあるムラサキウニ、強く濃厚な甘みと旨みのあるアカウニ、国内大手食品産業にも使用されている苓北レタスが人気です。



緋扇貝



苓北レタス